

行政報告

令和4年第8回定例会

全市民に鹿角市くらし応援商品券を配付 地域づくりミーティングを開催 八郎太郎三湖伝説シンポジウムを開催

令和4年第8回鹿角市議会定例会が11月28日から12月19日間の会期で開かれ、補正予算案などの議案が審議されました。初日に行われた市長の行政報告の概要は次のとおりです。

■関係人口の拡大

10月29日に、武蔵野大学有明キャンパスで、初の「鹿角市U25」交流会が開催されました。交流会では、武蔵野大学の学生が、今年の夏に本市で研究活動を行った「Uイーターン起業研究プログラム」の成果報告のほか、鹿角市U25の会員や、本市を含む3拠点で生活をしている大学院生によるパネルディスカッションが行われ、本市での暮らしの様子や鹿角に対する想いが語られました。

また、鹿角家の交流会「鹿角家族会議」も開催され、U25の会員と鹿角家の会員が「鹿角」をテーマに交流を深め、郷土愛の醸成と将来的なUイーターンに向けた意識付けを図っています。

沢地区を皮切りに、11月25日には十和田地区で開催しました。今後も定期的に開催し、市民との意見交換を通じて、自治会や各種団体などが抱える課題の解決を図り、より良い地域社会の構築につなげていきます。

■令和4年産米の作柄

6月上旬の低温や日照不足に加え、8月の大雨被害により、本市を含む県北地域の作況指数は「94」で「不良」となり、10ヶ当たりの予想収量は、前年より47割少ない530割と公表されています。令和4年産米の概算金は前年からは値上がりしたものの、上がり幅は小さく、その一方で、燃料費をはじめとする生産コストが高止まりし、農業経営がひっ迫している状況であることから、国や県、関係機関と連携し、肥料をはじめとするコスト削減の強化に取り組んでいきます。

■クマの出没状況

10月末までの目撃・被害通報件数は、前年比66減の124件で、うち被害件数は、前年比24減の44件でした。今年はドング

■鹿角市くらし応援商品券の発行

燃料価格や物価の高騰により影響を受けている家計負担を軽減するため、11月1日現在で本市に住民登録のある方を対象に、1人につき5千円分の「鹿角市くらし応援商品券」を発行しました。

■認知症対策

10月15日に、文化の社交交流館コモッセを会場に「認知症市民セミナー」を開催し、参加した約200人が認知症に対する理解を深めました。引き続き、認

■観光発見八郎太郎物語事業

11月26日にシンポジウムを開催し、八郎太郎伝説を起点とした広域連携や観光活用の可能性について、関係自治体と理解を深め合い、翌27日には、八郎太郎ゆかりの地を巡るエクスカーションを実施しました。

■JR花輪線の復旧状況

8月の大雨災害により鹿角花輪駅と大館駅間が運休となり、代行バスによる運行が続くなか、9月1日には、JR盛岡支社長に対し要望書を提出し、早期完全復旧を働きかけてきました。11月15日に令和5年4月から5月頃に運転が再開される見通しだと公表されました。今後も、復旧に向けた協力を

知症の方への支援の輪を広げ、高齢者に優しい地域づくりを推進していきます。

■新型コロナウイルスワクチン接種

オミクロン株対応ワクチン接種を希望される方の接種を促進するため、接種間隔が5カ月から3カ月に短縮されているなかで、本市では、市内医療機関での個別接種を中心に対応しています。

11月22日時点でのオミクロン株対応ワクチンの接種状況は5283件で、全人口に対する接種率は19.8%です。

また、生後6カ月から4歳までの乳幼児接種については、大館市と小坂町との広域連携によ

つながらよう、関係機関と連携していきます。

■地域電力小売会社かづのパワー

電気・原油などの価格上昇が続く、旧一般電気事業者を含む小売電気事業者の経営環境が厳しさを増す中、かづのパワーにおいても、バランスンググループからの卸供給価格の改定を受け、12月から電気料金が値上げすることになりました。

一方、三菱マテリアル株式会社との協議を経て、来年度から大沼地熱発電所の電気の一部を固定価格で仕入れることができるとの見通しとなり、市内で発電された再生可能エネルギー電気を安定した価格で供給することが可能になることから、2030年までのカーボンニュートラル達成に向け、前進するものと捉えています。

■市道除雪

11月22日に、受託業者や関係者による除雪会議を開催し、除雪計画に基づいた体制を整えました。今期は、市道など約556

り、11月19日から大館市立総合病院を会場に集団接種を実施しており、接種体制や救急医療体制の確保に努めています。

この冬は、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が心配されていることから、両方のワクチン接種を勧奨するとともに、マスク着用や部屋の換気などの基本的な感染予防対策の徹底を周知してまいります。

■地域コミュニティの維持と活性化

「市民との対話」をさらに進めるため、4地区の地域づくり協議会などが主体となって「地域づくりミーティング」を開催することとし、9月3日の尾去

について、除雪機械109台による除雪作業を実施することとしており、冬期間における安全・安心な道路交通の確保に努めていきます。

■「世界遺産のまち」づくり

11月5日に、大湯環状列石を含む「北海道・北東北縄文遺跡群」の世界遺産登録1周年と、大湯ストーンサークル館の開館20周年を記念し、「大湯環状列石・環状の現在・過去・未来」と題したシンポジウムを開催しました。

世界遺産登録に尽力された、文化庁の文化財調査官などが講演し、世界遺産に登録された大湯環状列石の役割と活用について、多くの参加者が理解を深めました。世界遺産を永続的にま



行政報告を行う関市長



鹿角市U25交流会



認知症市民セミナー



地域づくりミーティング(尾去沢)



八郎太郎三湖伝説シンポジウム



大湯環状列石シンポジウム

総務課 行政班
☎30・0203